

大谷地区計画について



しいな としお
 椎名 利夫
 議員

質問 役場周辺地区、大谷周辺地区計画はどのような進捗状況にあるのか。そして、トラブルなどはないのか。

答弁（経済建設部長） 現在、役場周辺の地域交流地区の事業を進めている。インフラ整備事業として、村道3路線、それと公共下水道の整備を進めている。村道3路線については、年内に工事の発注をしたいと考えている。公共下水道事業については、村道整備事業とあわせて公共下水道の管渠を入れていく予定である。次に地域交流地区に進

出予定の民間商業施設については、一つの業者とは基本合意書結び、残る二つの業者と現在協議が続けている。続いて、国道125号大谷バイパス（以下バイパス）の整備状況は、大谷地区の墓地の近くに橋が架かる。この橋梁の橋桁部分の工事が現在行われている。バイパス事業を進めるに当たり、個人の用地買収はすべて終了しているが、大谷公民館近くの共有地が残っており、用地交渉を現在進めている。次にトラブルとして、3点ほど問題点・課題が出ている。一点目は民間商業施設事業者との出店に係る点、二点目がバイパス整備に係る予算問題、三点目が未買収となっている共有地問題である。

質問 物産館と交流施設の計画は、どのように進んでいる

のか。

答弁（経済建設部長） 民間の商業施設と隣り合わせる形で建設を予定しており、特産物の直売所、子育て支援施設、情報発信施設、交流施設と4つの機能を持たせることを考えている。規模は約400坪で、物産館の運営については、JA茨城かすみ、JA稲敷、村による協議を進めている。

県道稲敷阿見線の道路補修について

質問 土屋地区の県道において、下水道工事完了後、補修はされているが、時間が経過するにつれ段差が生じ、住宅への振動が激しく、健康を害するとの苦情が出ているが、村としてはどのようにお考えか。

答弁（経済建設部長） 県道稲敷阿見線、栗山スタンドか

らセブンイレブンの区間については、もともと道路の舗装が悪い上、下水道工事により設置したマンホール、及び各家庭の取出し跡により段差が生じ、振動が発生している状況である。竜ヶ崎工事事務所に早期全面復旧のお願いに伺ったところ、修繕工事は行つたこと。ただし、この区間は道路の拡幅工事を行っており、用地買収後に全面復旧を考えている。修繕工事については、予算の関係があるので、いつ行つとは答えられないとの回答であった。再度、今回の村議会で地元議員から強い要望があつたことも伝え、早期の修繕をするよう、竜ヶ崎工事事務所に要望する。



工事中の県道稲敷阿見線